

Connect One

統合ビジネスプラットフォーム

LINEヤフー株式会社

2026/02 ver. 1

LINEヤフー

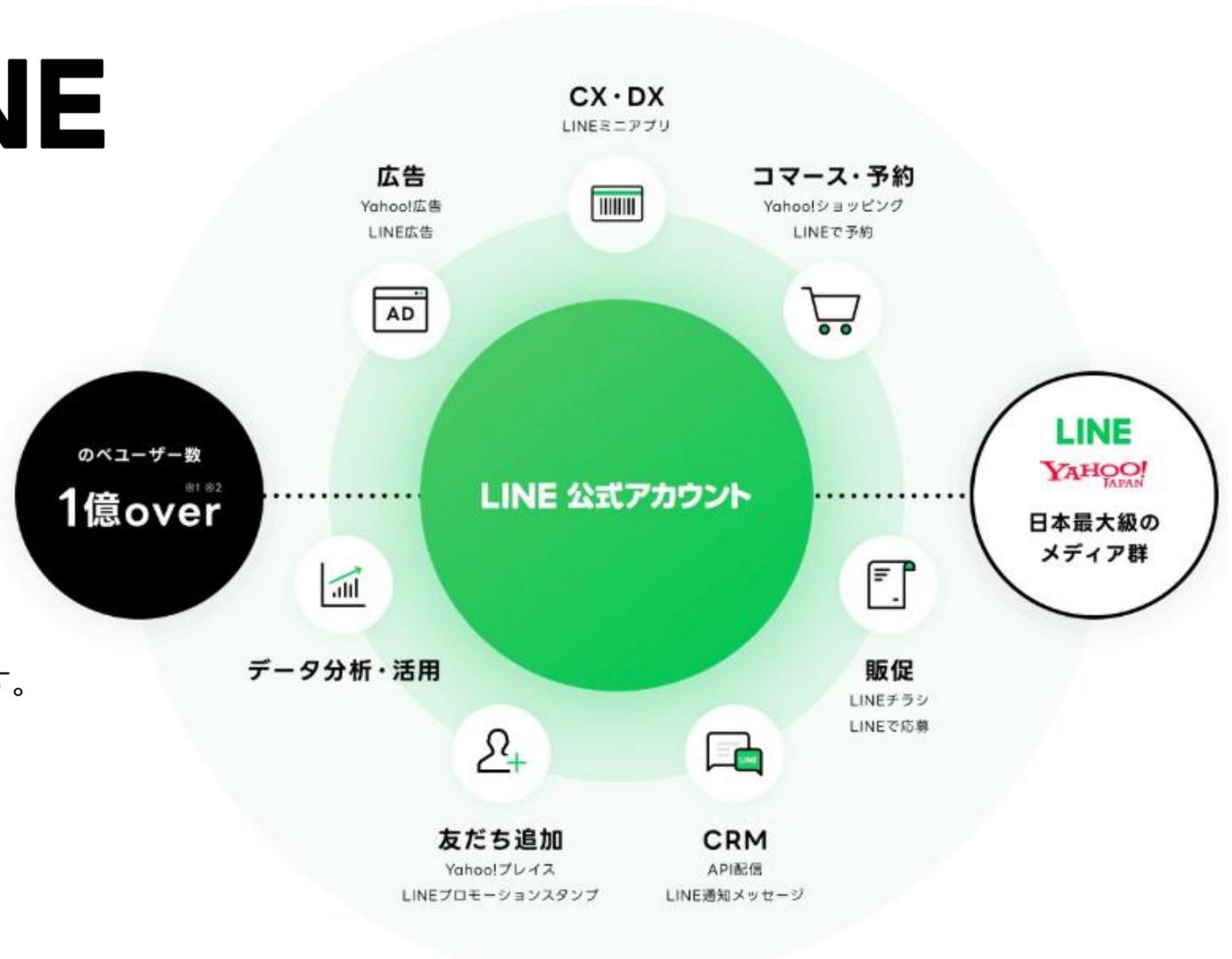
CONNECT ONE

あらゆるビジネスソリューションを、LINE公式アカウントで

CONNECT ONE

Connect Oneは、LINE公式アカウントに様々なビジネスソリューションをつなげ、企業やお店の総合的なビジネス支援を実現するLINEヤフーの新プロダクトコンセプトです。

企業やお店は、LINE公式アカウントを通じて、メッセージ・チャットの他、広告・コマース・予約・販促・店舗DX・顧客分析などの幅広いビジネスソリューションを、1億人を超えるLINEヤフーのユーザーに向けて活用することができます。



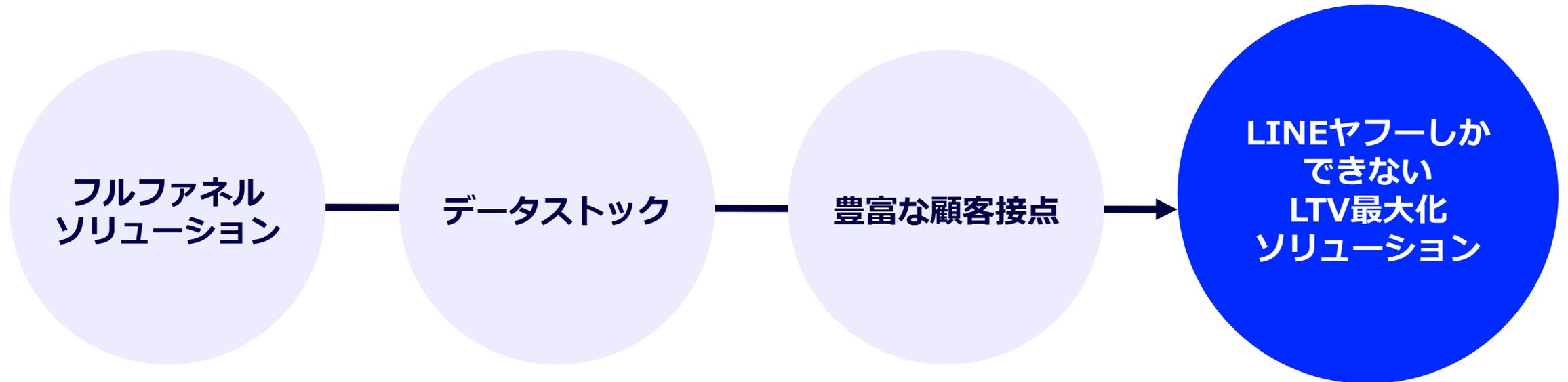
※1 LINE 月間アクティブユーザー数 (日本) 1億人 2025年12月末時点
※2 Yahoo! JAPAN DUB (Daily Unique Browser) 1億700万人 2025年3月末時点

企業やお店のLTVを最大化

ビジネスの成長を支え続ける

企業やお店は、LINE公式アカウントから利用可能な多彩なフルファネルのビジネスソリューションを利用し、豊富なユーザーデータを活用しながら、あらゆる顧客接点で最適なコミュニケーションを行うことで、お客様一人ひとりにあった提案を届けることができます。

その結果、ユーザーの Life Time Value（顧客生涯価値）を効率的に高め、ビジネスを継続的な成功へと導きます。



LINE公式アカウントを起点にした 統合ビジネスプラットフォーム

5つのポイント

01

LINE公式アカウントを起点に



02

アカウントを連携



03

横断で情報・データを集約



04

横断でデータを可視化



05

活用ソリューション



01 LINE公式アカウントを起点に



✓ LINE公式アカウント

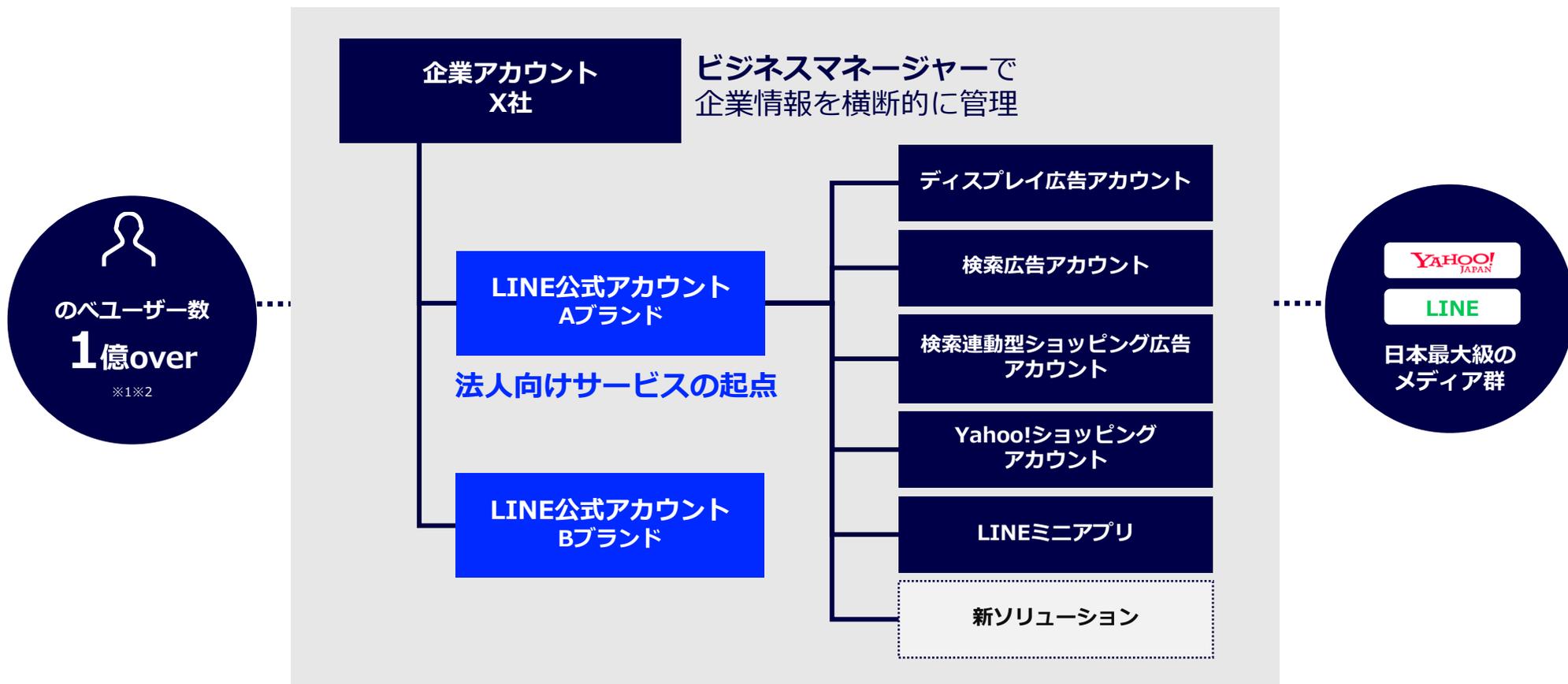
LINE公式アカウントは、日本国内で月間1億人（2025年12月末時点）が利用するコミュニケーションアプリ「LINE」上で、企業や店舗がアカウントを作り、友だち追加してくれたユーザーに直接情報を届けられる、**集客や販促施策などのビジネス活用に適したサービス**です。

企業や店舗がLINE上でお客様に直接情報を発信できるビジネス用のサービスで、充実した機能で集客から販促までを一貫して行い、**お客様と深いつながりを築くことができます**。また、EC機能や予約機能を搭載し、ユーザーが簡単にアクション可能になります。

POINT

豊富なユーザーデータを活用しながら、あらゆる顧客接点で最適なコミュニケーションが可能

LINE公式アカウントを中心にLINEヤフーが提供するビジネスソリューションを集約することで、アカウントやソリューションを横断してデータの収集、管理、可視化、オーディエンスの共有などが可能になります。



※1 LINE 月間アクティブユーザー数（日本）1億人 2025年12月末時点

※2 Yahoo! JAPAN DUB（Daily Unique Browser）1億700万人 2025年3月末時点

✔ ビジネスマネージャー

ビジネスマネージャーで企業情報 及び 企業アカウントに紐づくサービス・アカウント情報を横断管理



- ・情報の管理
 - ・企業情報・アカウント情報
 - ・権限管理
 - ・決済情報
- ・データ集約
 - ・蓄積・活用・管理
 - ・可視化
 - ・商品情報の一元化

今後対応予定

計測タグ
インサイト機能

今後対応予定

POINT

今までそれぞれのサービス・アカウントで行っていたデータの管理や可視化を企業内で横断的に行うことで

管理工数の削減に加え横断的な活用が可能に

✔ ビジネスマネージャー：計測タグ

計測タグを利用すると、企業アカウントに紐づいたLINEヤフーの様々なサービス・アカウント横断での計測・データ蓄積・活用が可能になります。

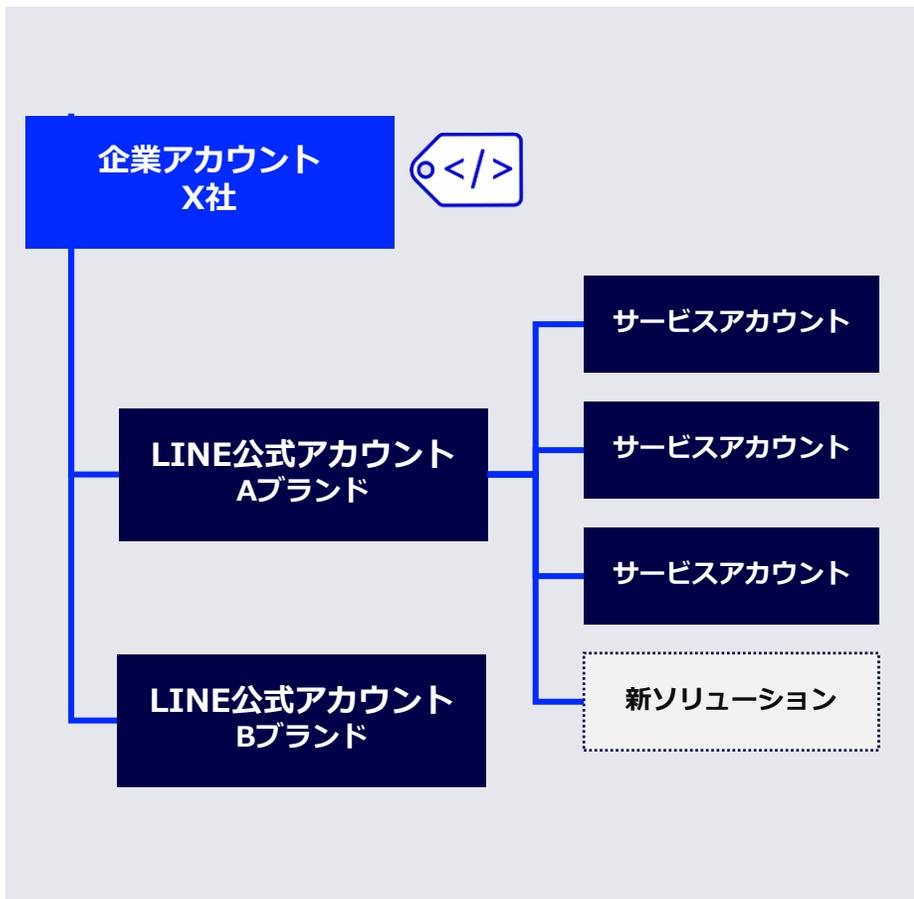
今までそれぞれで行っていた、タグの管理もビジネスマネージャー上で簡単に可能になります。また複数のプラットフォーム間でデータを横断的に活用できるようになることで、各プラットフォームでの配信精度や効果測定の品質向上が期待できます。

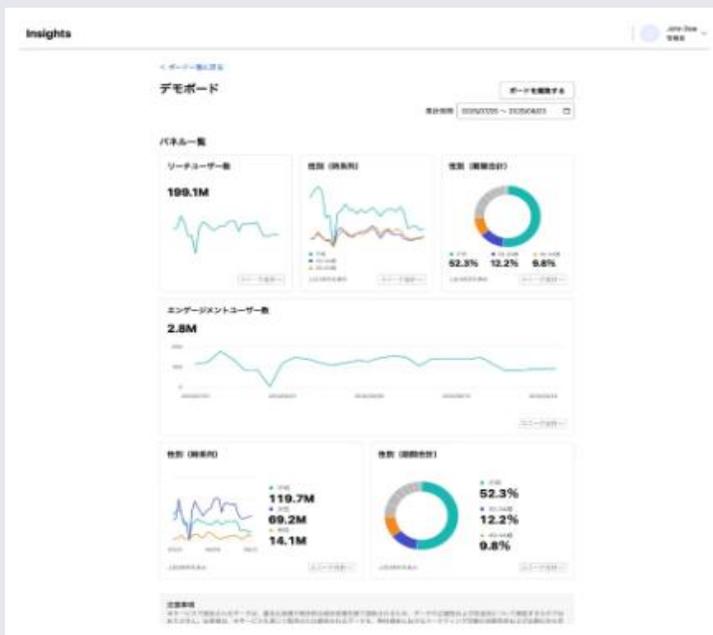
※詳細は[こちら](#)をご参照ください。（一部サービスアカウントの管理画面からもご利用可能です）

POINT

つなげて豊富なデータを活用

- ・オーディエンスサイズが増加し、広告配信効率が向上
- ・リターゲティングの精度・類似ユーザーへの配信マッチ度が向上





✔ ビジネスマネージャー：インサイト機能

企業アカウントに紐づいたサービス・アカウントのデータやLINEやフーメディアデータを用いて、マーケットや消費者などのマーケティングデータを可視化するダッシュボード機能です。

- LINEヤフーのプロダクト横断で効果を可視化
- 分析リソースを最適化
- 顧客のエンゲージメントを可視化

顧客の反応・変化をビジネスマネージャー上でリアルタイムに可視化、施策のプランニングを支援。

※2026年2月時点ではLINE公式アカウントとYahoo!広告 ディスプレイ広告のみの対応ですが、今後拡大予定

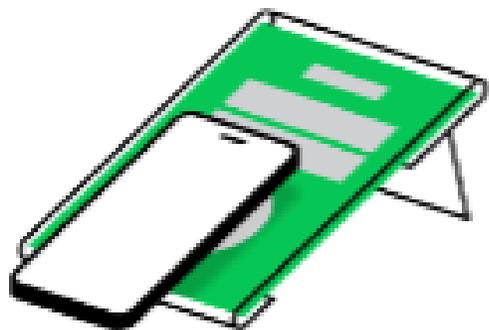
POINT

LINEヤフー内のユーザーアクションを「まとめて見える化」

LINEタッチ

✓ サービス・情報をタッチで瞬時にお届け

スマートフォンを専用の端末やシールにかざすだけで、ユーザーを目的のサービスへと瞬時に誘導可能に。



LINEミニアプリの進化

✓ アクセス導線の強化・決済機能追加

アクセス導線の強化や決済機能追加し、ユーザーがより日常的に使いやすいサービスへ進化しました。

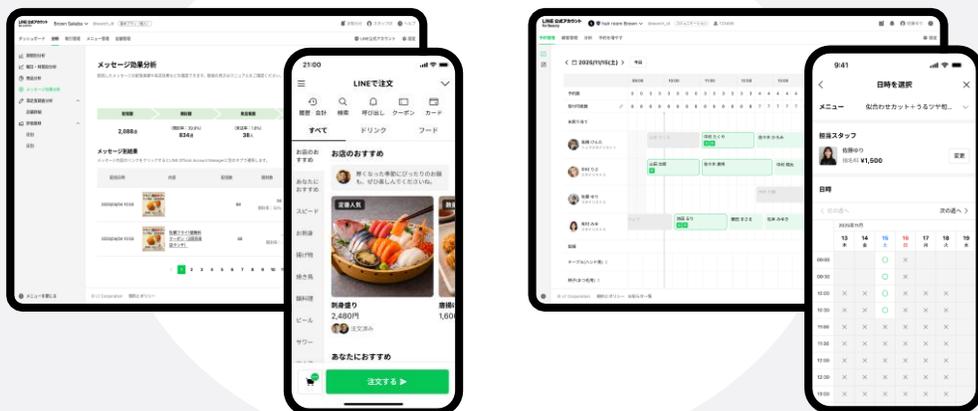


LINEレストランプラス・LINEビューティープラス

✓ 店舗と顧客の接点基盤

LINE公式アカウントを「配信ツール」から「店舗と顧客の接点基盤」へ進化します。

2026年6月 提供開始予定



プロダクトリリース情報

2025年

2026年1月以降

2026年4月以降

ビジネスID統合

2025年6月～順次提供開始 LINEヤフー社の各サービスで順次対応拡大予定

LINE・ヤフーの各プロダクトにログインするためのIDを1つに統合

アカウント連携

2025年6月～順次提供開始 主要なサービスアカウントとの連携拡大予定

LINE公式アカウントと企業アカウントの連携必須化（新規作成アカウントより順次対応）

LINEミニアプリ強化

2025年9月提供開始

アクセス導線の強化・決済機能追加

ビジネスプロフィール

2025年10月 提供開始

LINE公式アカウント「プロフィール」をビジネスに必要な情報を集約した「ビジネスの顔」に刷新

インサイト機能

2025年10月～ 順次提供開始 提供先拡大・機能強化予定

LINEヤフーメディアデータを用いて、マーケティングデータを可視化するダッシュボード機能

LINEタッチ

2025年10月 提供開始

スマートフォンを専用の端末やシールにかざすだけで、ユーザーを目的のサービスへと瞬時に誘導可能に

プロダクトリリース情報

2025年

2026年1月以降

2026年4月以降

計測タグ

さまざまなサービス・アカウント横断での計測・データ蓄積・活用が可能に

2025年6月 : Yahoo!広告 ディスプレイ広告にてご提供開始

2026年1月 : LINE公式アカウントにてご提供開始

2026年4月頃 検索連動型ショッピング広告にてご提供開始予定
(オーディエンスリストターゲティングより順次ご提供予定)

2026年秋頃 検索広告にてご提供予定

..... その他、様々なサービスアカウントへも
順次対応予定

LINEヤフー広告 ディスプレイ広告

2026年4月予定

LINE広告とYahoo!広告 ディスプレイ広告を統合予定

LINE レストランプラス

LINE ビューティープラス

2026年6月提供開始予定

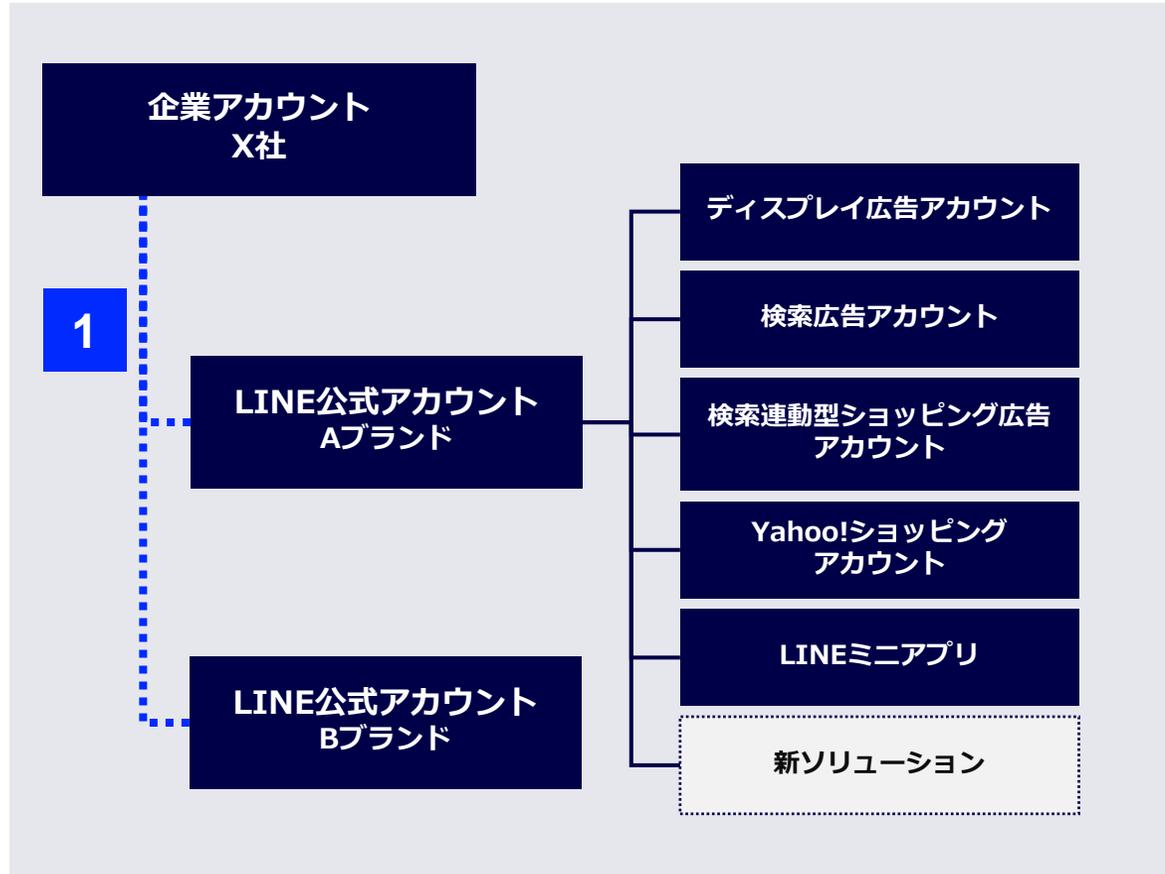
CRMオプション

LINE公式アカウントを「配信ツール」から「店舗と顧客の接点基盤」へ進化

アカウント連携の概要

各サービス・アカウントの連携

まず起点となる「公式アカウント」と「企業アカウント（ビジネスマネージャー）」の連携必須化を2025年6月より実施しています。



1 LINE公式アカウントと企業アカウントの連携

対応済

新規LINE公式アカウント作成時
↳ 企業アカウントとの連携を必須化

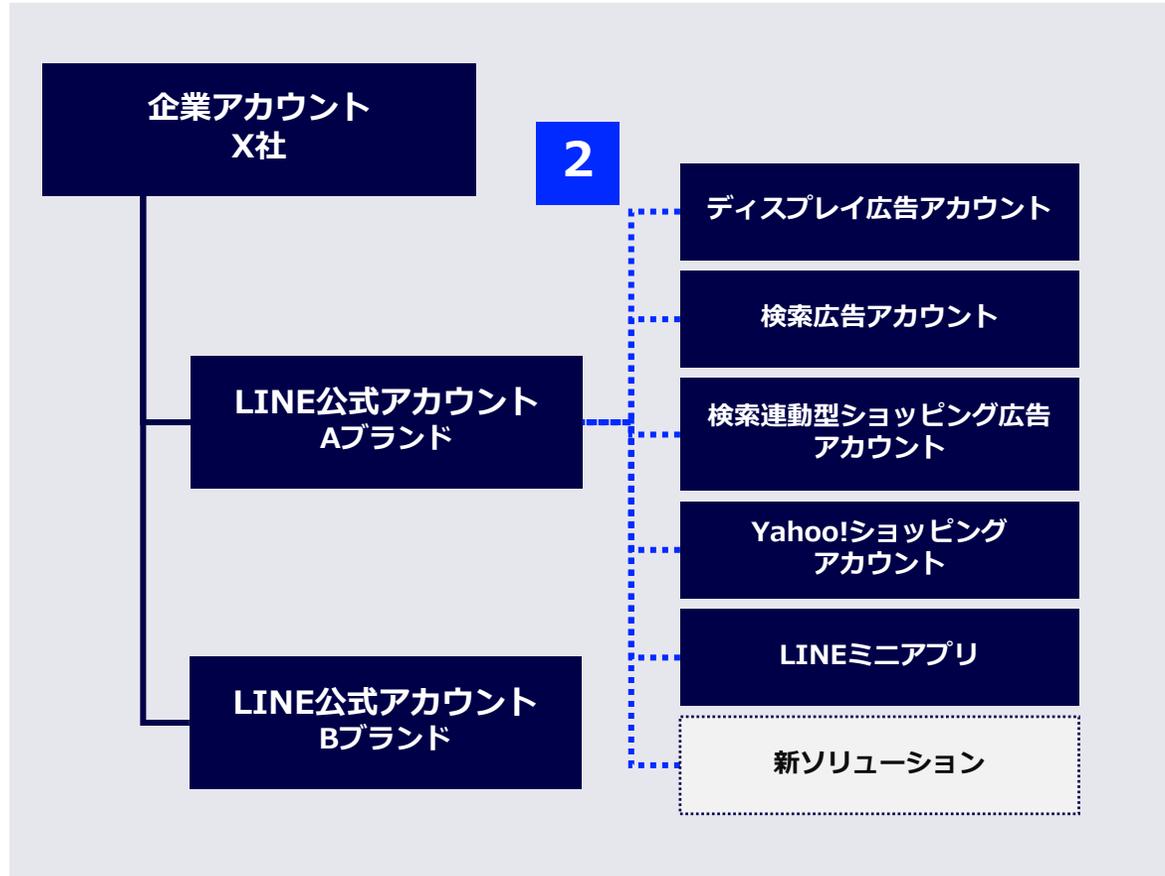
すでに作成済みのLINE公式アカウント
↳ 企業アカウントとの連携を必須化

※詳細は未定のため、決まり次第ご連絡させていただきます。

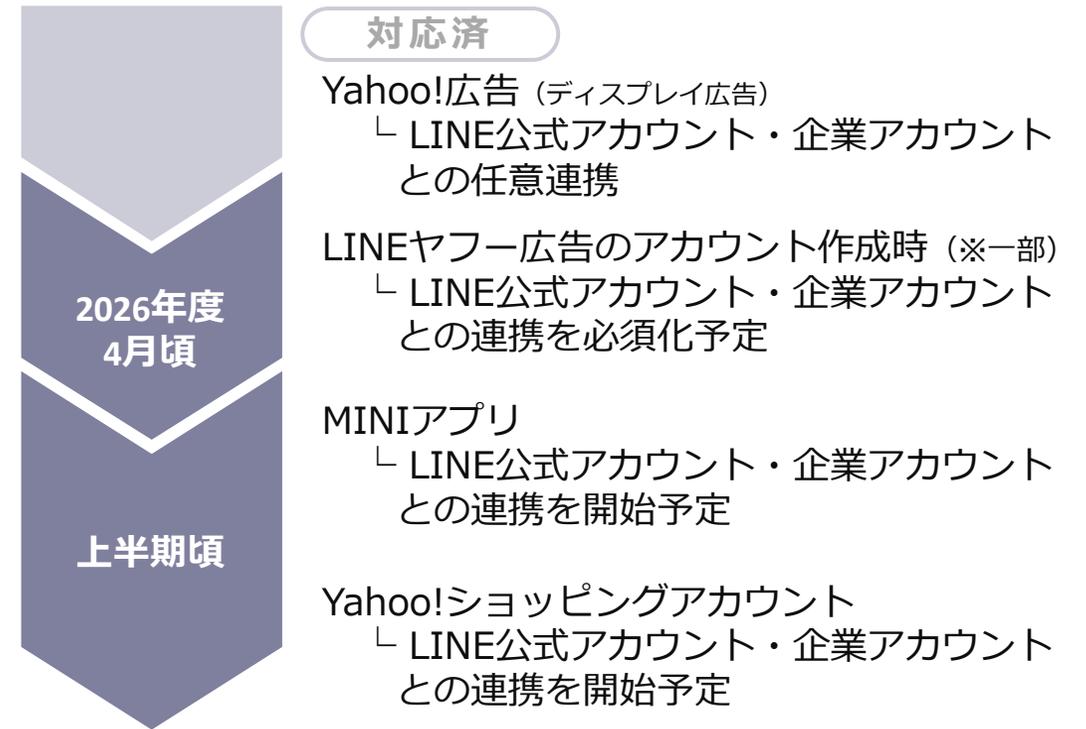
2026年度
時期未定

各サービス・アカウントの連携

2026年度より「LINE公式アカウント」と「各サービスアカウント」との連携必須化を実施していく予定です。



2 LINE公式アカウントとサービスアカウントの連携



※詳細は未定のため、決まり次第ご連絡させていただきます。

連携方法

すでに対応済みのアカウントの連携方法は下記を参照ください。
なお、今後連携可能となるサービスにつきましては、詳細決まり次第ご案内いたしますので、しばらくお待ち下さい。

新規LINE公式アカウント作成時の連携

ビジネスマネージャーの組織との接続方法

- **ビジネスマネージャーの組織を作成**
ビジネスマネージャーの組織を作成してアカウントに接続します。組織がない場合はこちらを選択してください。
- **ビジネスマネージャーの組織を選択**
既存のビジネスマネージャーの組織と接続します。すでに組織がある場合はこちらを選択してください。

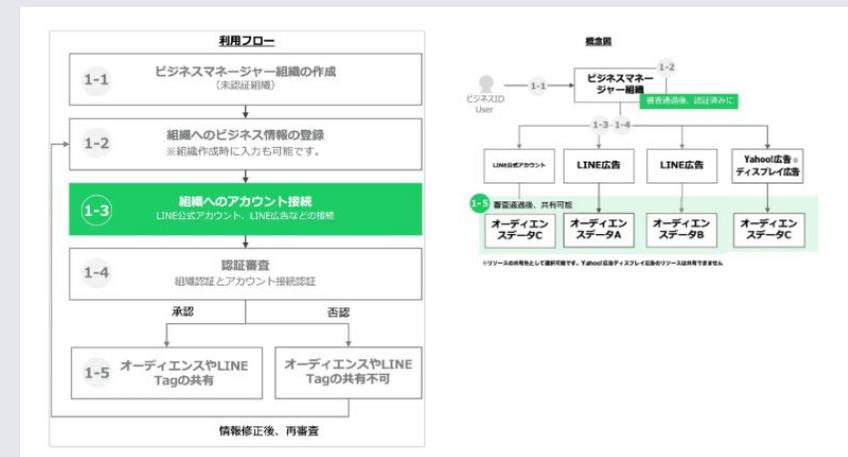
組織名 0/120

空欄の場合は、アカウント名と同じ名前で組織が作成されます。

[ビジネスマネージャーの詳細を見る](#)

LINE公式アカウントお申し込み時画面内に、ビジネスマネージャーとの接続方法の記載がありますので、内容に沿って選択・入力してください。

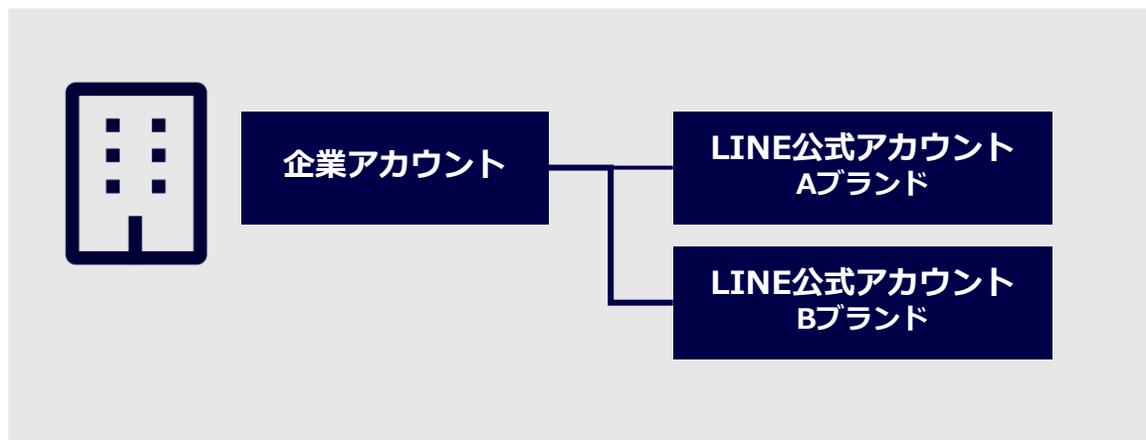
すでに作成済みのディスプレイ広告との連携



LINE公式アカウントとYahoo!広告 ディスプレイ広告の連携につきましては、[こちら](#)のページをご参照ください。

連携のポイント

基本「1企業」「1つの企業アカウント」で運用をお願いします。



POINT

企業アカウントが複数存在する場合
横断した活用ができませんので、この機会に
一つにまとめるご検討をお願いします。

注意点

ご利用状況によっては連携先の変更ができない場合があります。慎重にご確認の上連携をお願いします。

LINEヤフー